

学校長あいさつ

沖縄県立美咲特別支援学校は、昭和 47 年 1 月に琉球政府立中部養護学校として設立認可され、3 月には琉球政府立美咲養護学校と校名を変更し、5 月 10 日に開校式を迎えました。

当時は、小学部児童 22 名、中学部 14 名、職員 15 名でスタートした小さな学校でした。そして、開校の 5 日後に、沖縄県が祖国復帰を果たし、「沖縄県立美咲養護学校」に校名を変更しています。その後、昭和 51 年には高等部設置が認可され、平成 13 年には幼稚部が設置されました。

開校から今年で 50 年目を迎え、今年度 4 月現在、幼児児童生徒数 382 名、学級数 90 学級の大規模校となっています。

さて、本校では、その校名にちなみ『きれいに咲こうよ、咲かそうよ』を教育活動のキャッチフレーズにしています。

「咲こうよ」には子どもたちの主体性が、「咲かそうよ」には、教職員はもちろんのこと、保護者や地域の方々の温かい支援の思いが込められています。その思いを日々忘れず、子どもたち個々の自立と社会参加に向けた一步一步の歩みのために学校と家庭・地域社会が寄り添っていければ幸いです。

これまで本校の教育活動に関わっていただいた方々の思いを受け継ぎ、将来、子供たちが、それぞれにあった形で、社会参加・社会貢献・自立の花を咲かせられるよう、職員一同、心を一つにして日々教育活動の充実に努めてまいります。保護者、地域、関係機関の皆さまにおかれましては、今後ともご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

本校は、特別支援教育に係る地域のセンター校としての役割も担っております。就学前の幼児児童生徒の支援・指導についての相談や、学校見学等にも対応していますので、事前にご連絡の上、お気軽にご相談ください。

今年度より、本校高等部の分教室である美里高校分教室と教育センター分教室の2つの分教室を開設しました。美里高校分教室は「同年代が同一環境で共に送る学校生活」のコンセプトの下、1年生4名が、また、教育センター分教室では「企業就労を目指した職業教育の充実」のコンセプトの下、2年生および3年生21名の生徒たちが学んでいます。分教室では本校同様、将来の「社会参加・自立・貢献」を目指して日々の学びに取り組んでいます。

今年度もいまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこない状況ではありますが、子どもたちの健康と安全を最優先に幼児児童生徒の「学び」を止めないよう、本校教職員全員で取り組んで参ります。どうぞ、保護者および関係機関の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年4月19日

沖縄県立美咲特別支援学校

校長 栗國 静夫